

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成21年9月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

- **需要面**・・・個人消費は、一部に持ち直しの動きがみられる。
大型小売店販売額、ホームセンター・家電量販店販売額ともに前年を下回った。(6月)
乗用車新車新規登録台数は前年を上回ったが、新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額、公共工事請負金額は前年を下回った。(7月)
- **産業面**・・・鉱工業生産は、一部に持ち直しの動きがみられめる。
鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月を上ったが、原指数は前年を下回った。(6月)
- **雇用面**・・・雇用情勢は、厳しい状況にある。
きまって支給する給与、所定外労働時間とも前年を下回った。(6月)
求人倍率は、新規、有効ともに前月を上回った。新規求人数は前年を下回った。(7月)

○需要面の動き

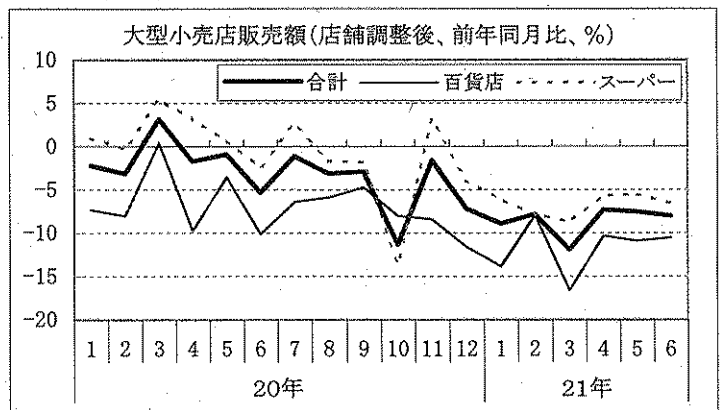
大型小売店販売額(6月)

全店舗の販売額は、45億6,500万円(前年同月比8.0%減)と15か月続いて前年を下回り、店舗調整後でも15か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比	
合計	456,500	▲8.0	(▲8.0)
百貨店	162,800	▲10.5	(▲10.5)
スーパー	293,800	▲6.6	(▲6.6)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(6月)

32億1,300万円(前年同月比0.2%減)と3か月ぶりに前年を下回った。

乗用車新車新規登録台数(7月)

1,882台(前年同月比11.0%増)と2か月続いて前年を上回った。普通車、小型車、軽自動車の全ての区分で前年を上回った。

新設住宅着工戸数(7月)

201戸(前年同月比14.1%減)と7か月続いて前年を下回った。持家系(前年同月比19.7%減)、貸家系(前年同月比2.6%減)ともに前年を下回った。

用途別着工建築物工事金額(7月)

3億2,700万円(前年同月比71.1%減)と前年を下回った。用途別では、製造業(前年同月比46.4%減)、卸売業・小売業(前年同月比55.1%減)等で前年を下回った。

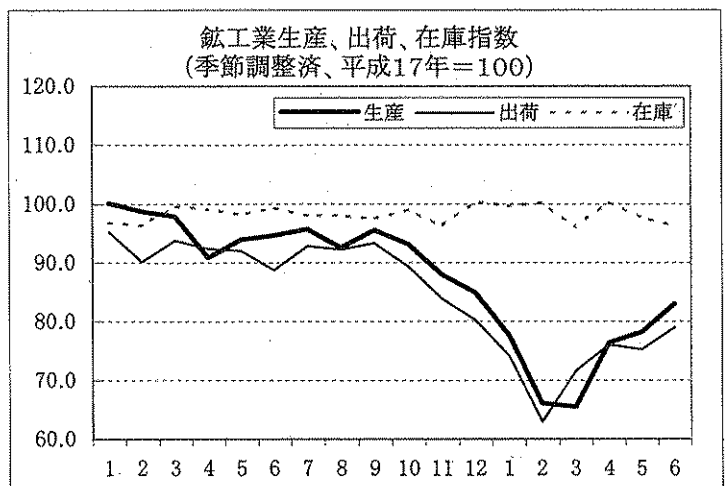
公共工事請負金額(7月)

79億6,600万円(前年同月比30.7%減)と6か月ぶりに前年を下回った。発注者別の内訳では、国(前年同月比27.2%減)、県(前年同月比1.0%減)、市町村(前年同月比35.4%減)等で前年を下回った。

○産業面の動き

鉱工業指数(6月)

生産指数(季節調整済)は83.0(前月比6.1%上昇)と3か月続けて上昇となったが、原指数は84.0(前年同月比10.4%低下)と9か月続いて低下した。
内訳を前月比で見ると、食料品・たばこが8.3%低下となり2か月連続の低下、電子部品・デバイスが8.0%上昇となり3か月続いて上昇、電気機械が11.8%低下となり2か月続いて低下、一般機械が0.5%上昇となり2か月ぶりの上昇となった。
在庫指数(季節調整済)は96.3と前月比1.4%低下した。



大口需要電力実績(6月)

129,895千kwh(前年同月比9.7%減)と11か月続いて前年を下回り、鉱工業用電力も主要4区分の全てで減少した。

青果物卸売量(7月、鳥取市場)

野菜が1,350t(前年同月比0.9%減)と前年を下回り、果実は1,065t(前年同月比11.0%減)と4か月ぶりに前年を下回った。

漁獲量(7月、境港)

8,565t(前年同月比41.3%増)と2か月続いて前年を上回った。

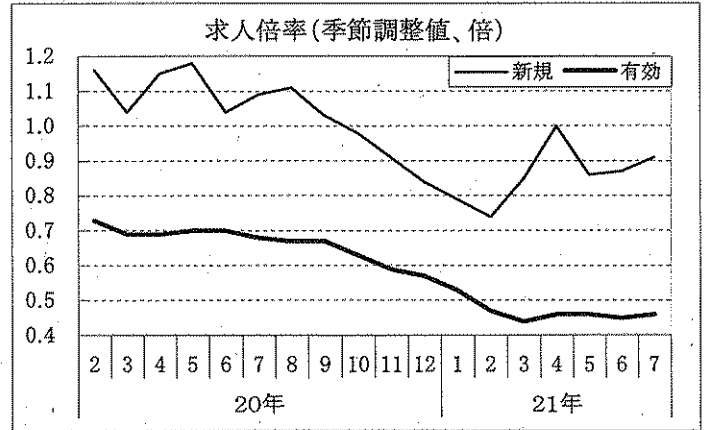
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(7月)

0.91倍(前月差0.04ポイント上昇、前年同月差0.18ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、3,486人(前年同月比8.5%減)と22か月続いて前年を下回った。

有効求人倍率(7月)

0.46倍(前月差0.01ポイント上昇、前年同月差0.22ポイント低下)と0.5倍を割っている。



現金給与総額(6月)

376,670円(前年同月比10.2%減)と6か月続いて前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、239,179円(前年同月比4.0%減)で13か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間(6月)

6.7時間(前年同月比28.8%減)と11か月続いて前年を下回った。主力の製造業は49.3%減となった。産業別の前年同月比では、電気ガス水道業(前年同月比24.1%増)、建設業(前年同月比19.9%増)で前年を上回り、飲食店・宿泊業(前年同月比26.1%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(6月末)

預金残高は、1兆9,714億円(前年同月比3.1%増)と6か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,401億円(前年同月比1.3%増)と2か月続いて前年を上回った。

○参考

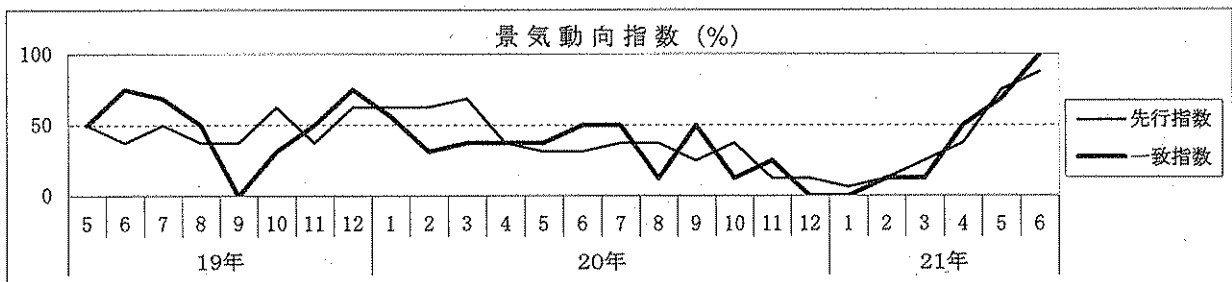
鳥取県景気動向指数(6月)

先行指数87.5%、一致指数100.0%、遅行指数60.0%となった。

先行指数は2か月続いて50%以上となった。

一致指数は3か月続いて50%以上となった。

遅行指数は10か月ぶりに50%以上となった。



企業倒産(7月)

件数は6件(前年同月比57.1%減)で4か月続いて前年を下回り、負債総額は15億1,000万円(前年同月比38.4%減)で6か月続いて前年を下回った。

消費者物価指数(7月、鳥取市、総合、平成17年=100)

99.6となり、前月比(▲0.4%)は低下となり、前年同月比(▲2.8%)も低下した。

鳥取県の推計人口(8月1日現在)

591,449人で、前月と比べて101人(0.02%)減少し、前年同月と比べて3,834人(0.64%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成21年8月調査)

平成21年7~9月期は、平成21年4~6月期に比べると、景気が不調で、売上高、経常利益がやや不調となっている。

平成21年10~12月期は、平成21年7~9月期に比べると、景気、経常利益がやや不調となり、売上高がやや好調となる見通しになっている。